

令和5年度 問寒別地区・地域づくりビジョン 推進の取組経緯について

3/18(月) 地域づくりビジョン審議会 資料

目指すもの：持続可能な地域集落

・望むなら、いつまでも暮らし続けられる地域集落づくり

【小さな拠点】

そのために：集落支援センター（仮）設置

・支え合い助け合い機能提供拠点整備、運営

ハード

運営主体：地域運営組織形成（NPO法人）

- ・構成：地域住民、地域おこし協力隊等（サービス提供、事務局等）
- ・役割：生活・団体・行事等支援、地域企画運営、組織マネジメント等
- ・財源：自主、地域経済循環、公共的活動受託、指定管理等

ソフト

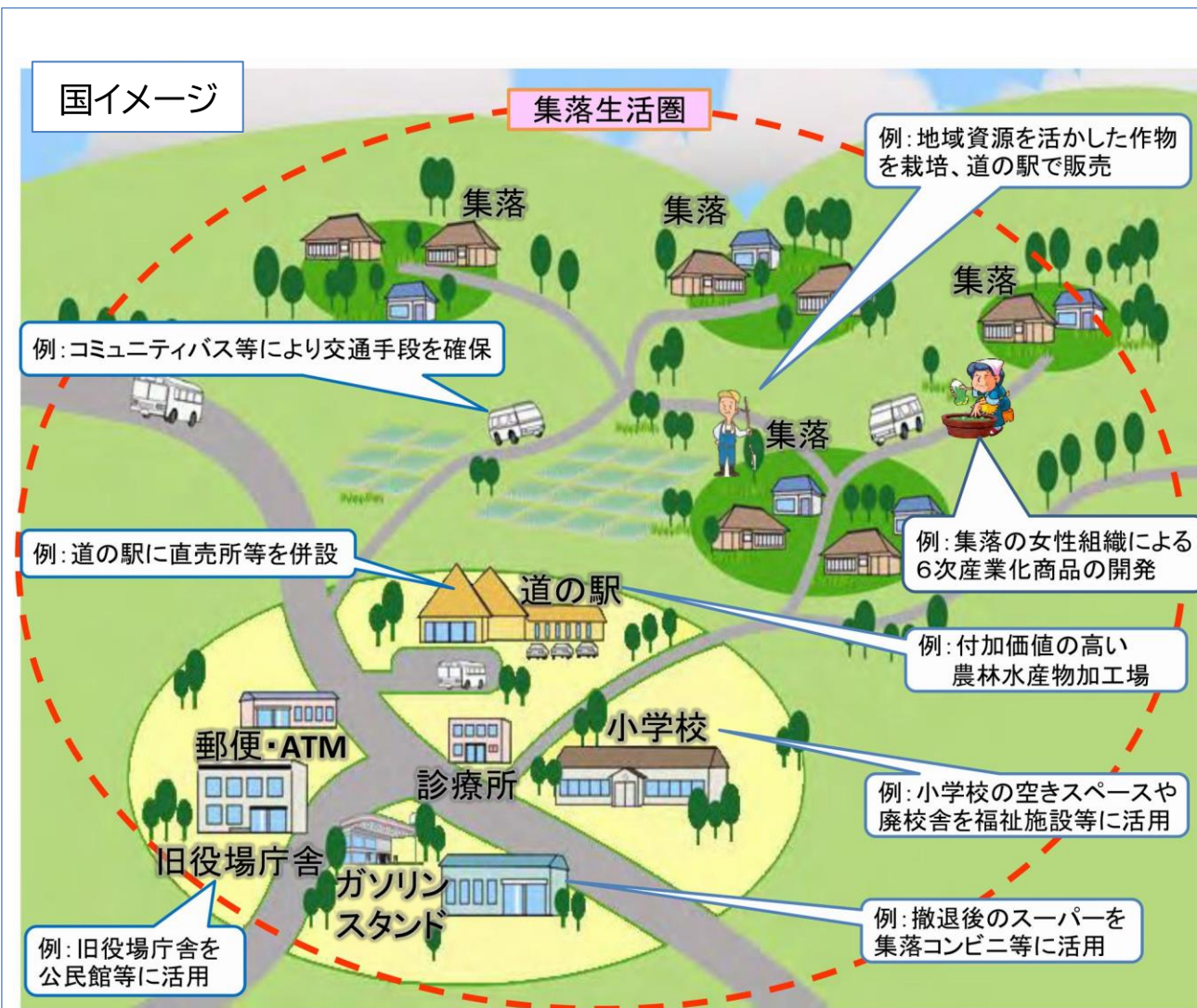
これまでの取組

- ・課題把握、地域住民団体連携、意識醸成、実証実験
- ・基本構想、地域づくりビジョン策定（審議会）
- ・住民懇談会等開催（本音トーク、各種プロジェクト、役場PT）
- ・人材育成等：地域おこし協力隊、集落支援員等配置

地域運営組織設立に向けて（R5）

- ・個別懇談会（R5. 9～10：2回）
- ・検討会（R5. 11：2回）
- ・準備会（R5. 12～R6. 2：4回※継続中）

「①小さな拠点(集落支援センター(仮))」 と 「②地域運営組織」



基幹集落と周辺集落で構成される集落生活圏において、安心して暮らしていくために必要な機能を持続的に提供する仕組みが「①小さな拠点(集落支援センター(仮))」で、その運営主体が「②地域運営組織」です。

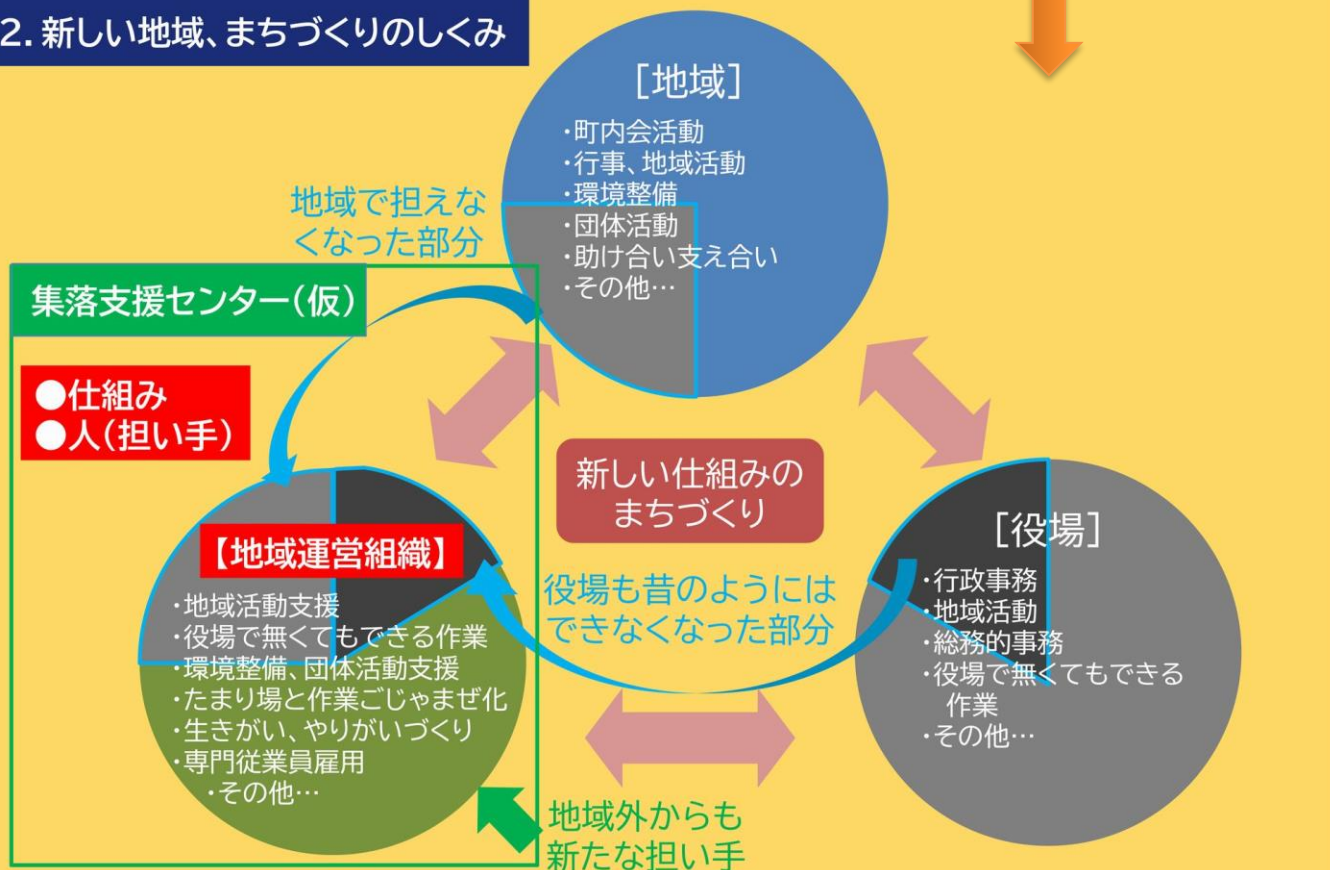
②地域運営組織は、地域住民が中心となり、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた運営方針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織です。

②地域運営組織が運営する①小さな拠点では、地域課題解決に向けた取組として、コミュニティバス等による交通手段確保、地域資源を活かした作物栽培販売、集落の女性組織による6次産業化商品開発、空きスペースの有効活用、コンビニ運営などを行います。

地域づくりビジョンのあゆみ・しくみ（地域コミュニティ形成事業）

1. あゆみ					
平成31年	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度～
地域維持 取組開始	協力隊実験的 取組開始	基礎調査 収集分析	本格的な地域 懇談・検討協議	ビジョン推進 組織設立準備・形成	
課題把握 地域連携 周知浸透	協力隊導入 実証実験 住民ヒアリング	役場業務調査 事業者等ヒア	住民懇談会開始 地域プロジェクト 地域づくりビジョン	地域づくりビジョン推進 組織設立準備・形成・運営	

2. 新しい地域、まちづくりのしくみ



【これまで】
地域の維持に必要な地域活動や日常生活活動は、主に「地域」と「役場」で担ってきました。

【地域の現状】
しかしながら、人口減少、少子高齢化、小家族化などで「地域」もこれまでのように地域活動が担えなくなりました。

【役場の現状】
役場も人員減や行政事務の複雑多様化で事務量が増え地域活動をこれまでどおりサポートできなくなりました。

【新しい地域のしくみ】
「地域」と「役場」の担えなくなった部分を、地域活動を専属で担うスタッフがいる「地域運営組織」という新たな地域のしくみで地域を維持していきます。

問寒別地区・地域づくりビジョン（R4～R5.3）

(1) 地域づくりビジョンの目的、あゆみ

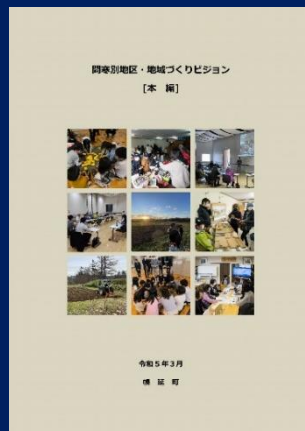
目的:いつまでも暮らしやすい地域をつくるため、問寒別地区の未来の姿や、地域づくりに必要な取り組みなどをまとめた道しるべ(令和5年3月完成)

(2) 地域づくりビジョンの内容

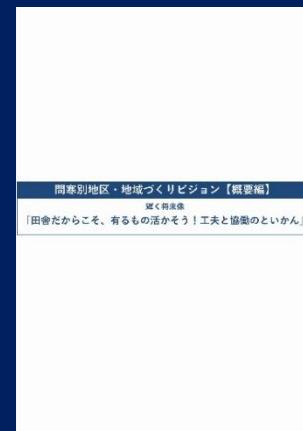
～ 地域の将来像(スローガン) ～

田舎だからこそ、有るもの活かそう！工夫と協働のといかん

問寒別地区・地域づくりビジョン



本編(出張所配置)



概要編(各戸配布)

解決したい6つの地域課題(目標)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 幸せに住み続けられること | 4 新たな地域運営 |
| 2 若者の移住定住の促進と住宅供給 | 5 みんなの居場所(複合拠点)づくり |
| 3 持続的な産業 | 6 生活利便性の維持 |



ビジョン基本計画(ビジョンを実現するための7つの重点項目)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| 1 ごちゃまぜプロジェクト(たまり場、活躍の場) | 5 ずっと続く産業プロジェクト(といかん共同果樹園) |
| 2 多様な住まいと住み続けプロジェクト(集合住宅) | 6 小さな多機能複合拠点プロジェクト(空き家等活用) |
| 3 子どもは地域で育むプロジェクト(ワラベンチャー) | 7 “当たり前”に新たな価値を吹き込むプロジェクト(といかん・みんなの市) |
| 4 自分ごと地域運営プロジェクト(新しい地域のかたち) | |

問寒別地区 地域づくり・地域運営組織設立 経緯（まとめ）

年	町と地域の動き	地域での具体の取組	備考
R元	7月 集落支援員配置 9月 視察（芽室町等） 10月 講演会（安藤氏）、座談会	8月 盆踊り （おためし協力隊）	地域維持取組開始 課題把握、地域連携周知浸透
R2	1月 講演会（松村氏） 4月 地域おこし協力隊着任 10月 住民ヒアリング	2月 スノービルラント （おためし協力隊） 【協力隊による地域活動】 10月 地域交通実験開始	協力隊の実験的取組開始 + 協力隊浸透、実証実験
R3	2月 役場業務等棚卸し調査 10月 事業者団体ヒアリング	9月 暮らし応援隊開始	基礎調査収集分析
R4	1月 本音トーク開始 4月 地域づくり基本構想 5月 移動と暮らしアンケート 7月 審議会開始（ビジョン） 役場プロジェクトチーム 10月 視察（芽室町）	【地域プロジェクト】 11月 といかん市開始 共同果樹園開始	本格的に地域での話し合い・検討・協議開始 + 懇談会、構想、審議会（ビジョンづくり）
R5	3月 地域づくりビジョン策定 5月 地域づくりアンケート 6月 地域づくり講演会（川北氏） 10月 本音トーク（組織設立説明） 11月 視察（島根県雲南市） 審議会等（組織設立説明） 12月 地域づくりシンポジウム	【あらたなかたち検証】 8月 問寒別駅100周年盆踊り	ビジョン完成・推進 + ビジョン推進

新型コロナウイルス感染症まん延による諸活動の停滞

- ・ 個別懇談会(R5.9～10:2回)
- ・ 検討会(R5.11:2回)
- ・ 準備会(R5.12～R6.2:4回)

地域運営組織設立検討

令和5年度 地域づくりビジョン推進の取組 - 1

日付	審議会等	地域運営組織	備考
R5.3月	地域づくりビジョン策定		<ul style="list-style-type: none"> ・解決したい6つの地域課題（目標） ・ビジョン実現のための7つの重点項目（ビジョン基本計画）
4月25日	といかん本音トーク①		<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりビジョン、各種プロジェクト
5月	地域づくりアンケート		
6月1日	第1回審議会 地域づくり講演会		<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱、ビジョン評価手法検討の進め方 ・川北秀人氏：小規模多機能自治
6月3日	といかん・みんなの市①		<ul style="list-style-type: none"> ・町民会館
6月21日	といかん本音トーク②		<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト振り返り、展開、講演会
7月1日	共同果樹園①		<ul style="list-style-type: none"> ・種まき、植樹体験会
7月11日	といかん本音トーク③		<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト振り返り、展開、LINEグループ、仕事棚卸し
8月5日	駅前地域交流会		
8月19日	盆踊り		
8月22日	といかん本音トーク④		<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト、イベント振り返り
9月2日	といかん・みんなの市②		<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センター：フリマ
9月7日	第2回審議会		<ul style="list-style-type: none"> ・評価手法概要：ロジックモデル ・地域のしごと棚卸し調査結果（速報）
9月8日	といかん本音トーク⑤ ・振り返り、展開	個別懇談会① ・組織イメージ提案	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度中に何らかの組織を立ち上げる ・コアな少人数で方向性の確認 ・個々で説明、仲間づくりを進める

令和5年度 地域づくりビジョン推進の取組 - 2

日付	審議会等	地域運営組織	備考
10月17日	といかん本音トーク⑥ ・地域運営組織説明	個別懇談会②	・組織設立工程確認：懇談会、説明会、準備会、総会等 ・コンセプト、構成、活動軸、分かりやすい設営資料作成
10月18～ 19日	団体等ヒアリング		・評価手法づくりに向けた各種団体の仕事、活動棚卸し調査 ・11団体：地域団体、サークル、町内会、行事、教育機関等
10月27日	空き家プロジェクト①		・空き家下見意見交換会
10月28日	といかん・みんなの市③		・生涯学習センター：文化祭
10月30日		個別懇談会③	・農協青年部、女性部等
11月9日		設立検討会①	・これまでの議論の住民との共有、理解 ・組織形態、構成員役割、事業内容（スモールスタート）
11月11日	といかん・みんなの市④		・問寒別小中学校第2体育館：少年少女文化祭
11月12～ 15日	先進地視察		・島根県雲南市：雲南市1、地域自主組織5箇所 ・住民8人、町7人、協力機関3人
11月20日	空き家プロジェクト②		・小倉氏現地調査
11月20日		設立検討会②	・組織設立に向けて納得と賛同 ・地域にしっかり丁寧に説明を
11月21日		団体等説明	・日赤ボランティア
11月22日	共同果樹園②		・冬囲い
11月24日		団体等説明	・農協組合員：上中間寒地区、その他地区
11月28日	第3回審議会		・地域運営組織設立の説明：必要性、形態、内容、行程等

令和5年度 地域づくりビジョン推進の取組 - 3

日付	審議会等	地域運営組織	備考
12月7日		設立準備会①	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりを進める組織の設立準備会発足 ・構成員候補確認
12月12日	第4回審議会 ・トーク「地域づくりシンポジウム」		<ul style="list-style-type: none"> ・道内各地域活動取組紹介と問寒別の地域づくりを検討 ・講師：芽室町蘆田さん、厚真町村上さん事例紹介
R6. 1月18日		設立準備会②	<ul style="list-style-type: none"> ・構成員候補が増え、組織に取り組んでほしい分野洗い出し ・正会員：個人とする
2月14日		設立準備会③	<ul style="list-style-type: none"> ・2グループで組織形態、理事、名称、会費等の大枠検討 ・設立趣旨書、定款（案）を提示
2月26日		設立準備会④	<ul style="list-style-type: none"> ・設立趣旨書、定款（案）の読み合わせ ・正会員、役員候補確定（別途調整）
3月14日		NPO法人相談会	<ul style="list-style-type: none"> ・必要書類等の相談（札幌市）
3月18日	第5回審議会		<ul style="list-style-type: none"> ・地域運営組織設立に向けた経過 ・地域活動評価手法検討

《 今後の予定 》

3月25日		設立準備会⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・必要書類精査、進捗報告、会員、理事検討
4月～		設立総会	<ul style="list-style-type: none"> ・組織化
		設立認証申請	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道：縦覧（2週間）、書類審査（2ヶ月以内）
7月		法人登記	

その他

- ・地域の皆さまに地域運営組織を知っていただくため、町内会、団体、サークル、仲間うちなどの個別の集まる機会にお呼びいただき、ご説明していきたいので、ぜひ、ご連絡ください。○役場 住民生活課 地域対策係 5-1112
- ・皆さまも、地域運営組織について、説明資料などを使って身近な人にお伝えください。

地域運営組織・NPO法人ミナといかん 概要

【特定非営利活動法人(NPO)法人ミナといかん】

○名称	「ミナといかん」：「ミナ」はアイヌ語で「笑う」の意味で、「といかん」は地域の呼び名です。 <ul style="list-style-type: none">・「といかん」で「みんな」笑顔で暮らしていきたい・「みなと」のように「みんな」が集まる地域や居場所になってほしい
○組織類型	問寒別地区・地域づくりビジョンに基づく地域運営組織をNPO法人の形態で運営します。
○目的	<ul style="list-style-type: none">・地域課題の解決に向けて具体的な取組を協議し、地域に必要とされる機能を提供します。・地域の文化や歴史を守り、すべての人がいつまでも安心して健やかに住み続けられる地域づくりに貢献します。
○コンセプト	これまで地域住民のボランティアで成り立っていた地域活動を、地域運営組織の専属職員が地域ボランティアの協力のもと、必要な取り組みを実践実行することで、地域の負担を軽減していくためのNPO法人です。 <ul style="list-style-type: none">・専属職員が複数業務をマルチにこなしていきます。・地域内外のいろいろな世代が活躍できる場を創出します。・ボランティアの部分と対価の発生する部分を整理して、しっかり稼ぐしくみをつくります。・皆が楽しいと思える運営を心がけます。
○会員	正会員、賛助会員 <ul style="list-style-type: none">・正会員：法人の目的に賛同する個人で、総会の議決権を持ちます。会費は年会費3,000円です。・賛助会員：法人の目的に賛同して事業を賛助する個人及び団体です。会費は年会費1口500円です。・ボランティア会員：法人が実施する各種活動にボランティアとして協力する個人及び団体です。会費はありません。・利用会員：法人が提供するサービスを利用する個人及び団体です。会費は利用料です。
○役員	<ul style="list-style-type: none">・理事：5人（代表理事1人、副代表理事1人）・監事：2人

地域運営組織・NPO法人ミナといかん活動内容（予定）

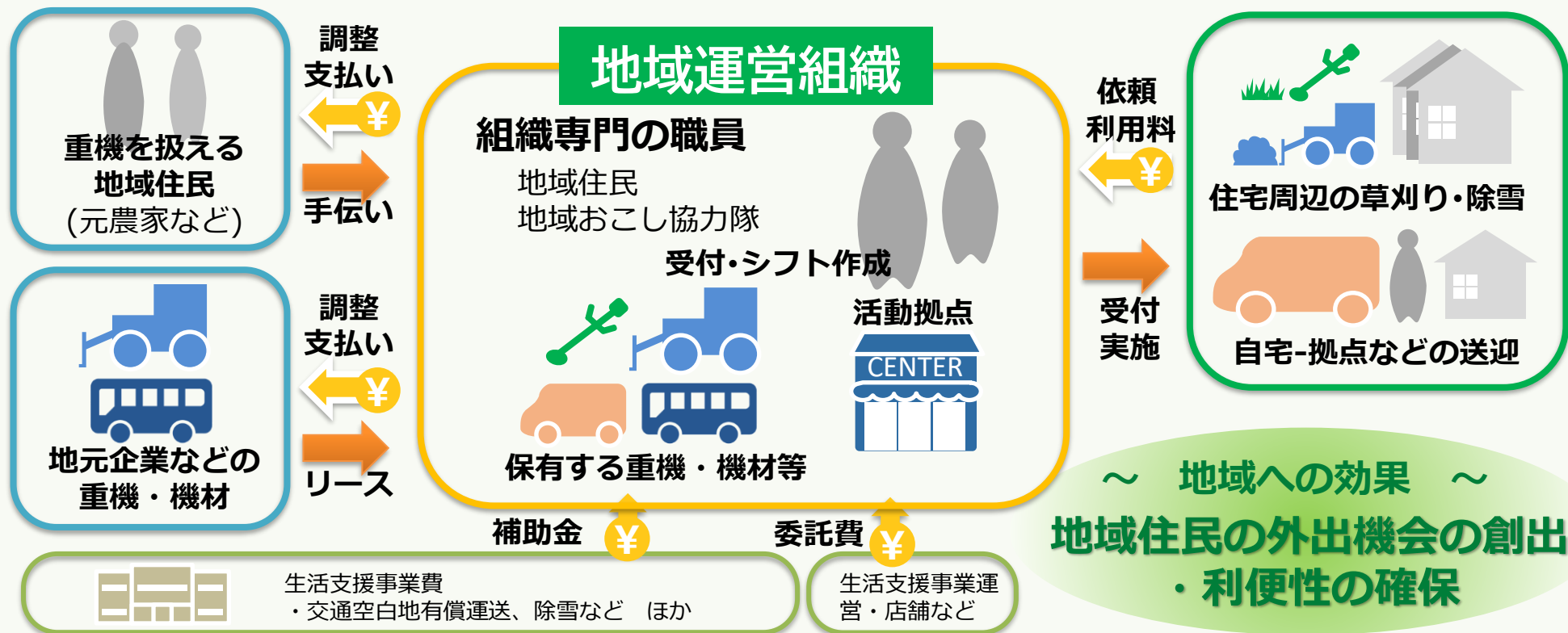
すぐに取り組む

時間をかけ
取り組む

- ① **住み続け支援**：地域交通、日常生活の支援などのしくみ
- ② **公共空間の管理**：地域の施設などの管理のしくみ
- ③ **交流・教育**：地域行事、団体活動支援、地域自主活動などのしくみ
- ④ **民間事業支援**：地域のしごと支援のしくみ

たとえば…、「①住み続け支援」とは次のような活動です

○地域運営組織の専属職員や地域のボランティアが、自前や業者から借りた機材を使って、住み続けるために必要な生活の足(地域交通)、草刈り、除雪サービスなどを行います。サービスを受けた住民は利用料を払います。



地域運営組織・NPO法人ミナといかん 体制・しくみ

○これまで地域住民のボランティアで成り立っていた地域活動を、地域運営組織の専属職員が地域ボランティアの協力のもと、必要な取り組みを実践実行することで、地域の負担を軽減していきます。

チエック

② 審議会（地区の全体会議：町内会、地域団体・事業者など）

② 審議会で、① 組織がビジョンに沿って事業をしているか確認、評価します

① 地域運営組織 NPO法人「ミナといかん(予定)」

④ 《協議機能》 課題解決検討

地域と組織を会員で考える場

【総会】 最高意思決定機関

- ・総会で計画や予算などを決めます
- ・町内会の総会のような存在です

正会員：10人以上（議決権）

【理事会】 事業会計等執行機関

- ・町内会の役員会のような存在です

理事3人以上（社員職員可）
監事1人以上（理事、職員以外）

連携共有

⑤ 《実行機能》 解決取組実行

組織で考えたことを実践する場

【実行部門】 一般の職場と同じ

- ・町内会で行事を実施するイメージ

【専属職員・部会】 企画運営実行

- ・事務局（長）：1～2人
- ・地域活動スタッフ：2～3人

【協力・支援者】 地域住民

- ・賛助、利用、サポート会員等

【事業実施】

- ・地域交通、草刈り、除雪

地域づくりビジョンを念頭に、地域課題解決に向けて、③地域の意見やニーズを常に把握して、④正会員や理事などで何をすべきか協議して、⑤専属職員などで取組を実行します

ニーズ

③ 地域住民・団体

地域の意見を集める井戸端会議（本音トーク）
地域課題に関する意向調査（個別懇談、アンケートなど）

参画

サービス・対価

住民のお手伝い



③ 地域住民、団体が①A組織の構成員として、①B支援者として参加します

《地域住民・団体の皆さまの関わり方》

- ④ これからの問寒別の地域を考えて、方向性や方針、計画・予算などに関わる → 正会員
- ⑤ 地域をよくする取組を、いろいろな方法(会費、お手伝いなど)で応援したい → 賛助会員

幌延町・地域コミュニティ形成事業 令和6年度事業

1. 主な事業

① 地域づくりビジョン推進：ビジョン取組を進める事業

- ・ 審議会：講演会等一体開催、地域活動評価機関、アンケート
- ・ 住民懇談会（本音トーク）：組織への移管支援
- ・ 住民発プロジェクト：夢の実現、課題解決、意識醸成、協力隊地域浸透
- ・ その他：視察、広報、地域の一枚絵

② 小さな拠点整備：組織形成・拠点準備

- ・ 組織設立運営支援：制度設計、支援しくみ、条例等検討
- ・ 拠点づくり：実験拠点整備、地域運営を考える場づくり、地域デザイン
- ・ 人材確保育成：協力隊、支援員等拡充
- ・ 地域デマンド交通有償運送化
- ・ 情報発信プラットフォーム構築活用

③ 地域運営構想検討（地域運営の効率的な仕組みづくり）

- ・ 地域運営システム考究

①「といかん・みんなの市」プロジェクト

- ・ 「ごじゃまぜ」の共同作業場、持ち寄り販売、活動発表の場、フリーマーケット

②「といかん共同果樹園」プロジェクト

- ・ いろいろな関わり方、新たな働き方、にぎわい、生きがいづくりの新たな産業、協業のブルーベリー果樹園
- ・ できた果樹を「といかん・みんなの市」で販売

③「ごちゃまぜネットワーク拠点」プロジェクト

- ・ ①の実施場所、②の拠点として、地域みんなが気軽に土足で集まれる秘密基地のような地域の拠点づくり

④「といかんハウス」プロジェクト

- ・ 老若男女みんなが見守り支え合い、わいわい暮らせる、個室と共同スペースのある共同住宅（シェアハウス）

⑤地域の未来の絵

- ・ みんなで問寒別地区の未来の姿を表す1枚の絵を考えてみよう

みんなで
やってみよう！

みんなで
考えてみよう！

地域コミュニティ形成事業 まちづくりのデザイン

地域づくりの拠点整備に向けて、地域の歴史や文化、内外の人の動きなどを検討し、より効果的なポイントに人の心を動かす地域全体の面的空間デザインにより、全体的に調和のとれたまちづくりを進めます。

事業工程(予定)

OR2:問寒別市街地のゾーニング(案)

- ・市街地の動線と機能分類を整理
- ・市街地に期待する姿
- ・地域のサービス拠点のあり方検討
- ・施設の集約、複合化検討



OR3~4:問寒別市街地空き家調査

- ・空き地、空き家の状況確認:7棟調査分析評価

OR5~6:市街地空き家(農済住宅)取得、改修調査

- ・地域活動実験拠点化(スモール拠点・学ぶ場)
- ・現地調査、改修計画案
- ・R5.12~R6.2土地建物取得
- ・R6年度:改修(予定)



OR6:民間賃貸住宅建設支援

- ・町補助制度改正
- ・民間活力による住まい形成支援

OR7~8?:本格地域活動拠点整備

- ・集落支援センター(拠点)整備計画(方法、規模、場所、機能)
- ・設計、工事

R6民間賃貸住宅(AP)建設補助改正内容

- 家賃上限:建設費÷戸数×0.5%(0.55%)
- ①町内事業者で施工:建設工事費の75%(30%)
 - ・1LDK45㎡以上:4,500千円(2,000千円)
 - ・2LDK55㎡以上:5,500千円(3,000千円)
- ②町外事業者で施工:建設工事費の50%(20%)
 - ・1LDK45㎡以上:3,500千円(1,300千円)
 - ・2LDK55㎡以上:4,500千円(2,000千円)

実験拠点：ごちゃまぜネットワーク拠点（スモールスタート）

○みんなで作りに上げることで愛着がわく、地域プロジェクト秘密基地づくり

【物件】

- ・字問寒別35番
- ・旧農業共済組合様住宅(土地:幌延町農協様)

【目的】

空き家を取得改修し、自分たちで作りにあげるたまり場づくりを進め、拠点に必要な機能整理、地域運営の手法を学ぶ場とする

【役割】

- ・町:調査、取得、構造・設備等不備調査改修
- ・地域:改修案検討、WS、作業、実験拠点運営等



【スケジュール(予定)】

R5. 5	町内部協議、農協等打診
11	物件調査(小倉氏)、提案
12~R6.2	町予算(取得)計上、土地建物取得
R6. 2~3	清掃、現状での利用開始
4	改修方法等検討(懇談会等)
6	予算計上
7~	改修工事、住民参加作業(みんながかかわる)



- ・土地:字問寒別35番、宅地、403.62㎡
- ・家屋:字問寒別35番地、木造平屋、平成7年築、75.73㎡

「といかんシェアハウス」(といかん本音トーク・プロジェクト)

・老若男女が暮らし続けることができるシェアハウス

集まって住むよろこび。

にしかぐらアグリコレクティブハウス

●やぐら

田畑の畝め
完つき野菜、
洗って、干して、
漬けて、食べて、売る！
共同で加工、技術の継承
管理用道具の保管

《共用の内部空間》

共用加工場、
地域食堂、食事のサービス、
学童の放課後、おやつと宿題
手仕事の講習会、勉強会
地域の情報の集約、発信、
コミュニティーラジオ
よるず相談デスク、コンシェルジュ
移動販売の店置き

●直売所

野菜、果物、加工品の直売所
イートイン、立ち寄りのひと休み
周辺の観光やイベントの情報

●住居棟

単身者、高齢のひとり暮らし、家族向けなど
暮らしに合わせて選べる住戸ユニット
プライバシーを保ちながら、互いに見守る関係
声掛け、窓の灯り

●内部の路地空間

外のように使う内部、内部のように使う外部
連続きでもお出かけのように

●コモンリビング

住民共有のくつろぎの居間
持ち回りの家具、
大テーブル、ストーブ
住民集会、会議
新年会、クリスマスパーティー、
音楽会
夕食後のお酒、読書、
お昼のお茶会
安否確認当番

●ゲストハウス

集客の客間、
帰省した家族の滞在
農業研修生
移住検討中のお試し滞在

●駐車スペース

アプローチ側に集約
冬場の塩雪帯

●フェンス、舗装

土に選る自然素材で
間伐材、チップ、砂利、古材の再利用



●農業研修生

農業研修生

●高齢者

高齢者

●移住検討中のお試し滞在

移住検討中のお試し滞在

●新規就農家族

新規就農家族
(子育て世代・準都市タイプ世代)

《共用の外部空間》

広場、共有の庭、草取り当番、子どもの見守り
外のキッチン、外の食堂、バーベキュー
日陰のひと休み、花火、夕涼み、
お神楽、クリスマスツリー

●ゲート

コミュニティの正面玄関
ランドマーク、門灯、表札、旗
生活信号の発信
コミュニティ交通の乗り合い停留所

卒農後、若者世代(新規就業、移住等)
の多様な住まい方の検討

参考: <https://www.gwnkagura.org/>スマート定住モデル

「地域の未来の絵」

・地域運営をしながら、地域の将来像となるスローガン(地域づくりビジョン)と、地域の将来を表す絵(イメージ)をみんなで描いていきます。

農・風・人・育む・上美生

～星が輝き、新しい風が吹き、営みを受け継ぐ。土地力とくらしの美力が人を育む、農力の集落づくり～

満天の星が輝く上美生は満点だ。
川が流れ、牛がのんびり草をついばみ、のびやかでおおらかな畑が広がる。
子供たちが野や山や畑で遊び、笑顔があふれる。
ここが風のひと、移住者をあたたかく受け止める地域、上美生。

「みんなのお店KAMIBI」と「ふれあい広場ひだまり」には、
子供もお年寄りも元気な青年も、
いつもみんなが集まって地域の困りごとを解決したり、お祭りの準備をしたり。
そんな風景が当たり前にある上美生。

たとえ人口が減少しても、高齢化が進んでも、
牛を育て、畑を耕し、大地の恵を育む地域は元気だ。
何より、世界に誇れる農産物と互いに支え合う暮らしがあるのだ。

いつまでも世界中においしいと幸せを届ける、そんな地域であり続けたい。

さあ、みんなで Kamibi・say!!

ハロウィン

クラフトワークショップ

大売り出し!

Himmel

秋の交流広場

クリスマス会

餅つき

買い物お助け便

キャンダルナイト

秋の交流広場

秋の交流広場

ほしぞら市場

秋の交流広場

presented by 上美生地区協議会/NPO法人上美生/上美生ほしぞらプラン会議

参考：※芽室町上美生地区のビジョン